

globalforce.link 通信 [2016.6.8.]

グローバルフォース・ドット・リンク通信

(第 0036 号)

2016.6.8.

\$\$\$name\$\$\$さま、お元気様でございます。

異文化コミュニケーション研究所(R)所長の島崎です。

この5月20日に、対日直接投資推進会議決定として、『グローバル・ハブを目指した対日直接投資促進のための政策パッケージ』が発表されました。

環境を整えることは大切だと思います。

でもお客さんの顔をイメージできない店は繁盛しないものです。

そんなに環境を整えても、すでにハブ化しているシンガポールにはかないません。

織田信長になったつもりで、自分の城下町を繁栄させるにはどうしたらよいか

考えてみる必要がありますよね！

まずは「民」が困っていることにフォーカスしていきましょう。(^^)

<<ご案内>>

6月6日～10日は、社員研修のためお休みとさせていただきます。

■トピックス■

1. 今週のフォーカス『事業開発人材』を育てる
2. 勉強会・セミナー等のご案内
3. 摩訶珍(まかちん)編集後記

10

| 1 | 今週のフォーカス「『事業開発人材』を育てる」

U

【日本は「パッケージ型事業」でアジア市場で勝利する】青嶋稔著

の中で、日本企業がアジアで勝てなくなってきた理由として挙げたものに、

(1)市場ニーズ把握の仕組みが弱い

日本本社がイニシアチブを持っていて、現地では販売するだけ

(2)リスクに対する判断力が弱い

保守や運営まで含めたシステム全体としての受注案件が増えた

ことで、さまざまなリスクが増え「及び腰」になった

と言うものがありました。本当にそうですね。

以前の日本企業は、失うものがなかったからでしょうか、必死になって戦っていましたが、今は「失うくらいなら、やらない方がいい」という後ろ向きなマインドになってしまったような気がします。

その本の中では、それを打破するさまざまな解決方法が書かれていましたが、私が注目したのは【事業開発人材の育成】です。

製品を単体で開発、販売する事業モデルの開発とは異なり、中長期的での社会的課題、ニーズを組み合わせで新しいビジネスモデルを作り上げるための、人材を育成する。高い目標を課し、戦略的な目標の実現を目指すグローバルリーダーを育てる。

まさにそれが必要ですね！！

是非、その際に globalforce(高度外国人財)もイメージして下さい。

初めから『内なる国際化』をして、日本人と globalforce の混合チームで、市場に臨む。大本営ではなく、このメンバーで、現場に近い場所で、機動的に動ける組織を作ることができれば、きっと素晴らしい成果を生むことができると思います。

日本の細やかさと緻密さ、さらに現場を知り尽くした globalforce がタックを組めば、鬼に金棒です！（^^）

「」

| 2 | 勉強会・セミナー等のご案内 [事前申し込み要]

「」

2016年7月21日(木) 14:00-16:00

場所: 星陵会館(東京都千代田区永田町2丁目16-2)

<http://www.seiryokai.org/kaikan/map.html>

(勉強会の課題はまだ熟慮中です。(f^^;))

「」

| 3 | 摩訶珍(まかちん)編集後記

「」

先日、役所に行ってきました。

某役所に書類を提出する必要があり、『登記事項証明書』を取得する必要があったのです。

法務省の受付のパソコンで『登記事項証明書』を探しましたが、そんな証明書はありません？！

とりあえず【履歴事項全部証明書】でいいか？と思い、窓口尋ねたところ、「登記事項証明書ですね、履歴事項全部証明書でいいんですよ。」との答え…。
？？じゃ、なんで別の名前なの？？

(当研究所は、株式会社フィギュアネットの事業部です。)